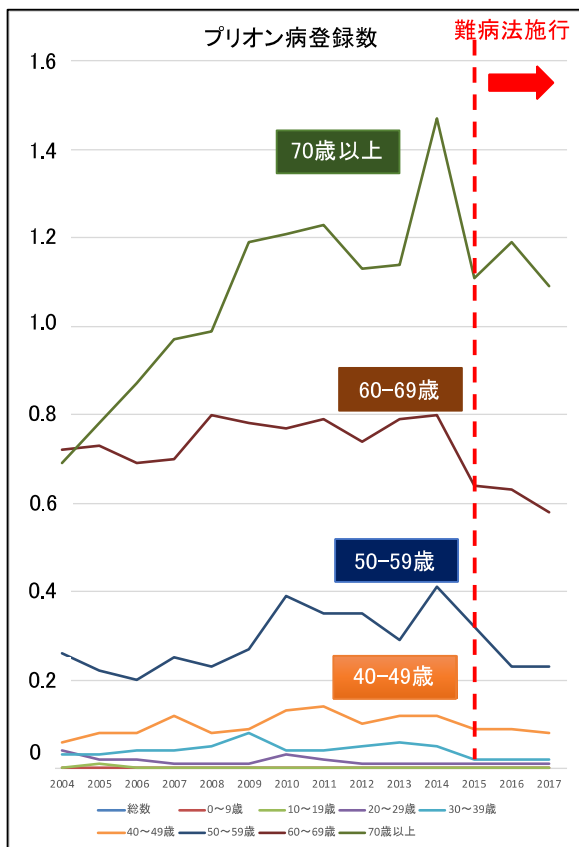


## プリオン病サーベイランスデータの 管理・運用の研究

研究分担者：国立保健医療科学院 金谷 泰宏

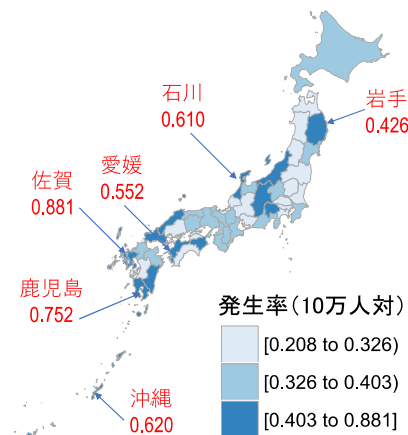
衛生行政報告を用いた  
プリオン病登録症例の年齢階層別推移

(10万人対)

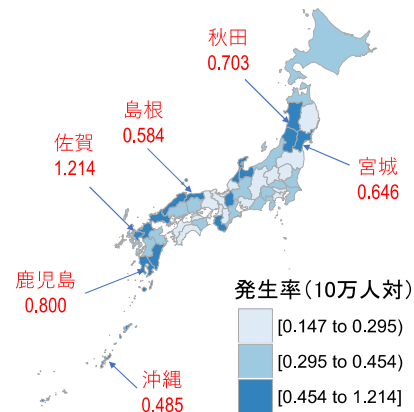


衛生行政報告を用いた  
プリオン病登録症例の全国分布

2004～2017年度の平均



2017年度



### 解 説

1. プリオン病患者の発生を把握する手段として衛生行政報告を用いて把握を試みた。結果として難病法施行の時期を境にいずれの世代においても登録数の減少が認められた。重症度基準導入の影響と示唆された。
2. プリオン病患者の発生数を都道府県別にGISを用いて見える化を行った。2004～2017年度の総数で比較した場合、佐賀県、鹿児島県での集積が認められ、2017年度のみでは、佐賀県が10万人対で1.214と他地域と比較して高い傾向が示された。